

バージョン管理基礎演習

第3回

少し応用編

【前回の復習】

■ステージング(staging)

コミットする前に、変更したファイルを選択して準備する操作

■チェックアウト(checkout)

作成されたブランチ間を移動

■マージ(marge)

分岐した履歴を戻してひとつのブランチに統合

①ファイル削除

画面共有をしながら説明

【不要なファイル削除をしてコミット】

- ① 「Dummy.py」を削除
- ② ファイル削除の変更内容をステージング
- ③ コミット実行

②ファイル変更取消

画面共有をしながら説明

【コミット直前まで進み変更を取り消す】

- ① 「Sample_03.py」の内容を変更
- ② 変更内容をステージング
- ③ 「変更のステージング解除」を選択
- ④ 「変更を破棄」を選択

③前回コミット取消

画面共有をしながら説明

【前回の変更コミット内容を取り消す】

- ①最新コミット時点の内容をチェックアウト
- ②「前回のコミットを元に戻す」を選択
- ③「変更のステージングを解除」を選択
- ④「変更を破棄」を選択

④管理対象外の設定

画面共有をしながら説明

【.gitignoreとは】

Gitの管理下におきたくないファイルを指定するファイルのこと。

プログラム実行や外部システムによるファイル操作など、
修正以外による変更が頻繁に発生するファイルが管理下にある場合、
毎回変更リストとして通知される為、共有する必要がないファイルは
管理対象から外しておく。

例：

- ・システム実行ログファイル
- ・ビルドする際に自動作成されるファイル
- ・送信受信フォルダ

【.gitignoreを作成】

- ① ファイル「.gitignore」を追加
- ② 特定拡張子の除外を試す
- ③ フォルダ内の全ファイル除外を試す
- ④ フォルダ内の特定拡張子の除外を試す